

ントにして、⑦送り金大・押え金小・糸調子を0ポイントにして、⑧⑦の条件にて下布一枚にウエイトをかけて⑨⑦の条件にて二枚の布一緒にウエイトをかけて、⑩しつけをかけ⑨の条件にて、⑪待針をして⑨の条件にて。

3. ④全体的にみると⑨の場合が縫いつれも少なく、ずれも比較的少なく又外見上も見苦しくない。③どの場合も概して、生地の下に紙をおいた時がよい。⑤生地の間紙をはさんだ時は概して縫製が困難であり結果も思わしくなかったという結果が得られた。

## 11. ビロード縫製時に於ける「縫いずれ」及び

### 「縫いつれ」について（第1報）

昭和女子大 石毛フミ子

○椎名 米子

植原 浩子

1. ビロードのように添毛組織の生地やモヘヤのように起毛した生地等立体的な生地を縫製する際におこる「上下布のずれ」及び「縫いつれ」の原因を諸方面から究明したいと思い、今回は綿ビロード経方向についてのみ検討した。

2. ④市販の綿ビロード1種経方向、60番カタン糸、14番ミシン針、日立電気ミシン、1分間500~550回転、3針・5針・6針。

③生地のみの時、生地の上に紙をのせた時、生地の上に紙をはさんだ時、生地の下に紙をおいた時、を下記の条件により縫製実験した。

③①送り金大・押え金小、②送り金中・押え金小、③送り金中・押え金中、④送り金大・押え金中、⑤送り金大・押え金小、⑥送り金大・押え金中・糸調子を0ポイ